

- (同抄訳) 気象庁観測部高層課 (1973): 気象ロケット国際比較観測の結果. 測候時報, **40**, p. 293-300.
- 中村繁・清水正義 (1967): 成層圏, 中間圏の温度, 風の状態. 気象研究ノート, **92**, p. 459-497.
- Quiroz, R.S. (1967): Meteorological rocket observations and research in the Soviet Union. Bull. Amer. Met. Soc., **48**, p. 697-703.
- Quiroz, R.S. (1972): On the relative need for satellite remote soundings and rocket soundings of the upper atmosphere. Bull. Amer. Met. Soc., **53**, p. 122-133.
- (同抄訳) 清水正義 (1972): 高層大気の観測における人工衛星とロケットとの相対的役割について, 測候時報, **39**, p. 445-457.
- Rawer, K. (1970): Aspects of the ionosphere. Ann. Geophys., **26**, p 95-107.
- (同抄訳) 清水正義 (1971): 電離圏研究の現状. 測候時報, **38**, p, 219-230.
- 五月女敬太郎・鈴木剛彦 (1972): 気象ロケット資料による成層圏天気図解析. 東大宇宙研, 第5回IASY シンポジウム, p. 294-302.
- 清水逸郎 (1971): ロケットと高層気象. 日本気象学会, 第5回夏季大学教室「新しい気象学」, p. 42-48.
- Smith, W.L., H.M. Woolf and W. J. Jacob(1970): A regression method for obtaining real-time temperature and geopotential height profiles from satellite spectrometer measurements and its application to NIMBUS 3 "SIRS" observations. Mon. Wea. Rev., **98**, p. 582-603.
- Smith, W.L., H.M. Woolf and H.E. Fleming (1972): Retrieval of atmospheric temperature profiles from satellite measurements for dynamical forecasting. J. Appl. Met., **11**, p. 113-122.
- US Standard Atmosphere (1962): NASA, USAF and USWB.
- US Standard Atmosphere, Supplement (1966): ESSA, NASA and USAF.
- Yata, A. (1970): Correction for the temperature data obtained by MT-135 system. Geophys. Mag., Japan Met. Agency, **35**, p. 99-121.

(以下70ページの続き)

青木(東北大): 実際に, 試験的にやってみて報告されており, しかも非常にいい精度で測定されています.

廣田(気象研): 新しい観測方法が開発され新しいデータが出てくることによって, 今まで断片的で使われていなかったデータもよみがえってくるわけで, そういうことを考えると, 衛星の観測データだけではなく, 従来あ

たロケットの観測データもつきあわせて考えていくことが必要になってくるのではないかと思います.

中島(気象庁高層): 新しい方法がいろいろと開発されてきており, ある意味では気象学の中心になってきているかもしれないのですが, このようなときに, もう一度基本に立ち返って, 測定とは何かということを考えなおす必要があるのではないかと思います.

訃 報

氏 名	住所または勤務先	死亡年月日
松 本 克 己	仙台管区気象台調査課	昭和48年12月5日
竹 花 峯 夫	伊東市松原谷津676	昭和49年1月9日
阿 部 安 三	堺市金岡町1147	昭和48年9月1日